

周防大島高校再編の要望を

田芳春議員



問 昨年12月町議会の一 般質問で、安下庄と久賀 両校舎を統合し、周防大 島高校が誕生して以来未 だに2校舎体制が続いて おり、特に、野球部活動 で往復1時間を費やし、 久賀の寮から安下庄校舎

間を行ったり来たりして大変な不便と経済的 な負担を強いられているので、高校の設置場 所を、久賀校舎への変更について県教委への 要望をお願いした。その質問に対しての町長 及び教育長の答弁は、「高校の設置場所につい ては、町内で多様な意見があることから、慎

重に取り扱わなければならない。」と県への要 望書の提出を否定された。しかし、実際には、 町長名で福祉専攻科を設置する旨の要望書が 県教委へ提出されている。町民は、福祉専攻 科や地域創生科を新たに設置するよりも、福 祉科の存続を望んでいる。見解は。

答 福祉専攻科の設置は、県教委に要望して いる。

間 周防大島高校の再編整備計画は、教育関 係者、PTA、同総会、野球後援会そして町議 会議員等に対しても、十分な説明もなく、地 元住民を無視して決めた今回の高校改編案は、 白紙撤回するべきだと思う。見解は。

答 周防大島高校の 再編案の白紙撤回 を要望する考えは ない。



Facebook の活用と 農業後継者不足の認識は?

議員



問 南島原市のように観 光に特化した形でFace book (以下FB) を活用 している自治体がある。 フォトコンテストをFB 上で実施し民泊の受け 入れが倍増するなどの 効果がでている。周防

大島町としてもこのような形でのFB活用を 検討されてはどうか?

答 観光に特化した形でのFB活用は有効性 があると考える。観光協会とタイアップし て周防大島のPRとしての使い方をするな ど、観光協会の事務と相談しながら研究し

てみたい。

問 農業者の高齢化による後継者不足が深刻 である。特に稲作農家の後継者が不足して いるように感じるがその事に対しての町と しての認識は?

答 新規就農者の中で稲作にとりくむ就農者 は少ないと感じている。稲作・柑橘・野菜 を組み合わせたり、圃場整備をすすめてい くなど、経済活動として自立できる農業に 取り組める環境作りに努力していきたい。



南島原市のFacebookより